

大津市に対する要望書

わが国経済は、世界景気の減速や長期にわたるデフレ、高い法人税、電力不足等を背景に、大変厳しい状況にあります。多くの中小企業は生き残りをかけ、あるいは新たな成長を拓こうと懸命の自助努力を続けているのが実情です。

当所が四半期ごとに実施している大津企業景況調査（平成24年7月～9月期）においても、省エネ関連製品の受注増加などにより一部改善は見られたものの、全体の景況は停滞感が出ているのが実情であります。

そのような中、大津市におかれましては、“次代を支える「ひとのつながり」” “次代を担う「まちのにぎわい」” “次代へ引き継ぐ「自然のうるおい」” を基本方針に、新産業の振興をはじめ中心市街地活性化、観光振興など様々な分野で効果的な施策を積極的に展開いただいているところであります。

当所におきましても、大津にある有効な地域資源をフルに活用しながら、地域全体のバランスの取れた経済発展が実現できるよう努力して参ります。

以上の観点を踏まえ、下記事項について特段の配慮を払われるよう強く要望いたします。

中小企業振興策について

1. 小規模企業対策予算の十分かつ安定的な確保について【継続】

本所管内の商工業者等（6,865件）の経営基盤の安定と体質改善強化を図るため、経営革新等高度化する経営課題に対し、経営指導員7名が巡回指導（1,837件）窓口指導（1,084件）等きめ細やかな指導を行っております。

つきましては、厳しい財政状況と存じますが、中小・小規模事業所への支援事業が円滑に継続できますよう、引き続き、補助金（商工会議所・商工会活動基盤強化事業費）の安定的な交付に特段の配慮をお願いします。

併せて、県補助金につきましても、商工会議所が実施する小規模企業対策等が円滑に遂行できるよう小規模事業対策予算並びに経営指導員等補助対象職員の人件費の十分かつ安定的な確保を県に働きかけていただくようお願いいたします。

観光・地域振興策について

2. びわ湖毎日マラソン大会と市民マラソン大会の同日開催について【継続】

「びわ湖毎日マラソン大会」と「市民マラソン大会」の同日開催につきましては、道路事情、規制時間、人員確保などの問題があり困難であるとして、平成21年度より同大会の前週に「びわ湖レイクサイドマラソン」として開催されているところです。

大津にある有効な地域資源をより広くPRしていくためには、同一開催が望ましく、実現しないと経済波及効果が薄くなります。

つきましては、地域振興、観光振興の観点からも、さらに活性化が期待できま

すので、同日開催の早期実現について特段の配慮をお願いします。

3. 瀬田唐橋のライトアップと駐車場整備について [新規]

大津市の観光名所で、日本三大名橋の一つとして知られる瀬田唐橋は、瀬田川流域における観光拠点として多くの観光客や市民が訪れており、毎年8月1日～17日までの期間はライトアップされ、訪れる人を楽しませています。

つきましては、同地域を訪れる人に四季を通して楽しんでいただくため、年間を通したライトアップについて、特段の配慮をお願いします。

また、同地域には、観光バスの駐車場がないことから、中之島にある青年会館の駐車場を観光バス駐車場として利用できるよう併せてお願いいたします。

4. 自転車道整備について [新規]

近年、自然にめぐまれた魅力を持つ“琵琶湖湖畔”を自転車にのって楽しむ方や、スポーツとしてサイクリングをされている方が増加しております。

しかしながら、2012年3月に実施された“びわ湖一周ロングライド”事業では、瀬田唐橋経由の本来のびわ湖一周でなく、琵琶湖大橋経由のコース設定となっているところがあります。

現状では、琵琶湖大橋～浜大津間は湖畔沿いの道路がなく、R161号も道路幅が狭く危険な状態にあります。

このような中、“びわいち”のブランド化を育成するにあたり本来のびわ湖一周が安全・安心にできる道路整備は不可欠であります。

つきましては、大津市からの推進はもとより所管行政への働きかけをいただきますよう特段の配慮をお願いいたします。

エネルギー問題について

5. 電力の安定的な供給確保について [継続]

慢性的な電力不足は、企業の成長にとって大きな足かせとなり、特に、体力の乏しい中小企業に深刻なダメージを及ぼしています。震災後1年数か月が経過いたしました。未だに将来を展望できるエネルギー戦略が提示されることがないまま、節電要請を繰り返さざるを得ない状況が続いています。

つきましては、電力不足による経営への負担を払拭し、安価な電力の安定供給を期していただくよう、国等関係機関への働きかけについて特段の配慮をお願いします。

まちづくりについて

6. 公共施設の今後の対応について [継続]

国等の出先機関の新庁舎移転や公共施設の事業廃止に伴う、それら跡地の利活用について昨年度要望申し上げたところ、「広く市民の皆様の声をお聞きしながら、跡地に利活用を検討して参りたい」との回答をいただきました。特に、競

輪場跡地につきましては、都市計画決定された公園とお聞きしております。また、整備には多額の事業費と時間を要するとのことですが、大津市のまちづくりにとりましては大変重要ですので、その活用策については民間事業者の意見を十分聞いたうえで対応いただくよう特段のご配慮をお願いします。

また、下記各施設の利活用についてその後の状況をご説明願います。

- ① びわ湖大津競輪場（大津市二本松1）
- ② 法務合同仮設庁舎跡地（大津市役所隣接地）
- ③ 大津税務署（大津市中央4丁目6-55）
- ④ 滋賀県労働局（大津市御幸町6-6）
- ⑤ 滋賀農政事務所（大津市打出浜3-49）
- ⑥ 滋賀会館（大津市京町3丁目4-22）
- ⑦ 琵琶湖文化館（大津市打出浜地先）
- ⑧ 滋賀県体育文化館（旧武徳殿）（大津市京町3丁目）

7. 環境に配慮した建築物の建設について【継続】

低炭素社会を実現していくための取り組みの一つとして、高度かつ総合的に環境に配慮した建築物の建設は、重要な要因の一つであります。

壁面緑化や高効率機器の導入等は、とりわけ効果が大きく「建築基準法による容積率緩和制度」に基づき、おおいに取り組みべき方向で活用を推進したく考えておりますが、大津市においては、容積率の緩和には、4か月前に申請しなければ適用が難しく建設を阻害する一つの要因となっております。

つきましては、手続きの簡素化について、「建築審査会包括同意基準」を定めて、指導要綱等に盛り込んでいただき、住宅の省エネ化を促進し、温暖化対策のより一層の推進を図るためにも、特段の配慮をお願いします。

防災対策について

8. 防災対策の強化について【継続】

地震をはじめとする自然災害等緊急事態の発生時に備え、本年1月13日には、大津市と当所、大津北商工会、瀬田商工会の4者で「災害時における生活物資の調達等に関する協定」を締結したところです。今後は4者が効果的な活動が行えるよう検証を加えながら体制整備を整えたいと考えていますので、引き続き、充実・強化に対する特段のご配慮をお願いします。

また、中小企業が経営への影響を最小限にとどめるための、事業継続計画（BCP）の策定と実施体制の構築、災害が発生した際の金融支援について特段の配慮をお願いします。

さらに、水害対策への対応として、大津放水路の未着工区間の早期整備について関係機関への働きかけをお願いします。

交通体系の整備について

9. 国道1号バイパス（大津～山科）の整備について【継続】

国道1号バイパス（大津～山科）の早期整備については、交通容量不足による交通渋滞が深刻な状態であるため、例年、早期整備について要望申し上げており、大津市でも、国、県等関係機関に対しまして働きかけていただいているところで

す。滋賀県内では、渋滞緩和を目的に国道1号栗東水口道路の、新名神高速道路との接続部を含むバイパス整備が進められていますし、京都、大阪地域では、第二京阪道路、阪神高速8号京都線が全線開通しております。

つきましては、同バイパスの早期実現化について、国・県等関係機関に対しまして、引き続き積極的に働きかけていただくよう特段の配慮を願います。